



2026年6月29日

株式会社商船三井さんふらわあ

東京～九州RORO航路 就航船のリプレースを実施  
～大型化・環境性能向上により、いっそうのモーダルシフトを促進～

株式会社商船三井さんふらわあ(社長:牛奥 博俊、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、2029年上期以降を目途に東京～九州 RORO 航路(東京～博多/東京～苅田)就航船4隻中3隻のリプレースを実行いたします。投入する新造 RORO 船3隻は内海造船株式会社(社長:寺尾 弘志、本社:広島県尾道市)で建造、貨物車両積載台数は、セミトレーラー13m 換算で190台程度を予定しており、現行船に比べ約20%の増強となります。また、使用燃料についてバイオディーゼル燃料の採用検討を進めており、同時に環境性能の向上も目指しています。

大型化と環境性能の向上により、輸送単位あたりのCO<sub>2</sub>排出量の大幅な削減を実現、加えてトラックドライバー不足による輸送力不足という社会課題解決に貢献し、引き続き関東～九州間の長距離輸送という重要な社会インフラ維持の一翼を担ってまいります。

航路図



現行船 さんふらわあ はかた

